

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成28年3月31日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ムサチヨウナイカイ
団体名 牟佐町内会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ㊦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	住民参加型地域発見事業（古代山陽道の復元と伝承）
事業実施区域 (小学校区)	牟佐町内会の区域（牧石学区）
事業 実 施 内 容	※実施事業の概要をご記入ください。また事業実績を示す写真（2枚程度）、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 まずは、6月に牟佐まちづくり協議会（町内にある様々な団体で構成）を開催し、事業参加を説明するところからスタート。 8月には、市教育委員会文化財課長を、地元公民館（分館）にお呼びし、基調講演（学習会）を開催。参加者の意識を高めた。 その後、元々牟佐で生まれ育った高齢の方々を中心にお集まりいただき、記憶の中から具体的に残せるもの、伝承できるもの、住民に紹介するあり方等を幾度かの協議にて固めて行った。 住民参加で歩けるコースを幾度か試行、決定。古代山陽道の渡場であろう（呼称の地名も「渡場」）の集落に今も残る屋号を明確化し地図上に復元した。 3月には歴史ウォークと銘打ち、住民参加のもと古道を歩きながら、大塚古墳や旧跡を説明しながら、江戸期に栄えたとされる倉敷往来や渡場の現地、屋号の説明等まで、時代を超えて地域に存在する歴史資源を共有する取り組みを実施した。

事業目的とその達成状況と効果	ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 大塚古墳（吉備三大巨石墳）、その他古墳群や渡場（当該地域に残る呼称）などが残り、古代山陽道が通ったことは間違いないようだが、住民に直接語りかける場面はなかった。今回、それらを明確なテーマとして住民参加で学習していこう、次世代に残そうという取り組みを具体化させたことで、大きな関心の高さを知ることができた。イベント参加者も、日頃の行事ではお会いすることの無い方々が大勢出かけられたことで、地域のアイデンティティづくりや活性化につなげることができた。 当初は、想定していなかったことが二つ。 ①地域の方が、推定作成時期が明治期と思われる大きさ三畳ほどの大きな絵地図（ほぼ牟佐全体をカバー）を持参された。その後、表装をし直しされていたが、岡山市シティミュージアムの協力をいただき、20分割しデジタル化することができた。住民の関心も高くいろいろな場面で共有することができることになった。 ②倉敷往来で栄えたと思われる江戸期から残るであろう屋号を明確化、マップ化することができた。今しなければ、永遠にできなかったかもしれないタイミングであり、これで次世代へ残すことができる。
企画などの工夫と情報公開	※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。 実施に当たっては、75歳クラスが中心で企画、調整、準備をいただいた。製本等資料作りも、材料代のみで自分たちで作り上げたため、経費を随分抑えることができた。また、渡場地区の現地説明や屋号の明確化、マップ化などは、当該地域住民の皆さんに特に協力いただいた。地域住民が、単に参加するだけでなく、自主的なルート上の草刈りや現地説明など主体者となることで、さらなる地域協働の流れができた。 住民参加の歴史ウォークは、他を頼むのではなく、勉強を重ねた住民が説明を担当。住民が地域に生える珍しい竹で手間をかけて杖を作って配布。参加記念品には地域で獣害駆除されたイノシシの皮を活用したしおりを準備した。その製作は障害者施設が担うNPO法人岡山セルフセンターに依頼した。当初は我が町内で捕獲駆除されたイノシシの皮を活用することとしていたが、地元で捕獲したイノシシがオスであったため、なめすことができなかつたり、小さかつたり、さらには、シーズンを通して捕獲頭数も少なかったことから叶わなかった。そんな不運もあったが、獣害駆除されたイノシシも、そのすべてを有効に活用することができ大切な資源であることを併せて啓蒙することができたと思う。 取り組みの情報共有については、その度、全住民に回覧や町内会新聞（全戸配布）で情報提供した。講演（学習会）には山陽新聞の取材もあり、市民版に大きく紹介された。イベントには北公民館からの参加もあり、北公民館だよりで案内と報告の両方が紹介された。次年度の6月1日発行予定の町内会新聞でも、昨年度取り組んだ区づくり推進事業の紹介を予定している。

次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 事業のメリットの一つは財源にあるが、来年度町内会として取り組むとしても、大きな経費は必要ないと思われる。その手間を考えると一旦、事業は今年度で完結したい。
事業実施者としての評価・感想など	※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりをすすめることができたか、あるいは持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったかなど、本事業についての評価をご記入ください。 古代山陽道は牟佐から旭川を渡り対岸の玉柏からさらに西方に延びていく。その対岸の宮本町内会からも、歴史ウォークに参加いただいた。テーマに対する関心の高さをうかがい知ることができるとともに、同様の取り組みが行われる可能性も見えてくる。 当初想定していなかった住民からの絵地図の提供と、さらにはシティミュージアムの協力（無償）による絵地図のデジタル化は大きな副産物であり、区づくり推進事業でなければできなかったと思われる。心から感謝したい。 当初は古代山陽道にこだわっていたが、学習する中で専門家でもそのルートを設定することは困難であることを知り、少し落胆もあった。しかし、地域を通っていたことは間違いなしと思われるし、突然に絵地図も登場したことから、この際江戸期まで時代を昇り、倉敷往来として栄えていたであろう渡場地区に今も残る屋号をきちんと整理できたことは、今しかできないであろうし、大きな財産になったことは間違いなし。 子どもの参加が少なかったことが残念であったが、次への課題としたい。逆にシニア世代は益々元気に生き生きとされていたことが強く印象に残る。また、町内会のほかのイベントではお会いすることのない方々も、喜々として参加されていたことは驚きであった。 イベント終了後しばらくして、地域にある前原池北古墳群の管理について、近隣住民から行政がかかわらなくなったことへの不信の声が寄せられた。おそらく、意識の高まりがあると思われる。この際、地域発の市民協働で関わることを提案していきたいと考えている。 間違いなく、歴史資源をテーマにした取組は、住民が望んでいたものであり、初めての取組みとして、地域の活性化、アイデンティティを高めることができたと思っている。

■収 支 決 算 書

◆収 入

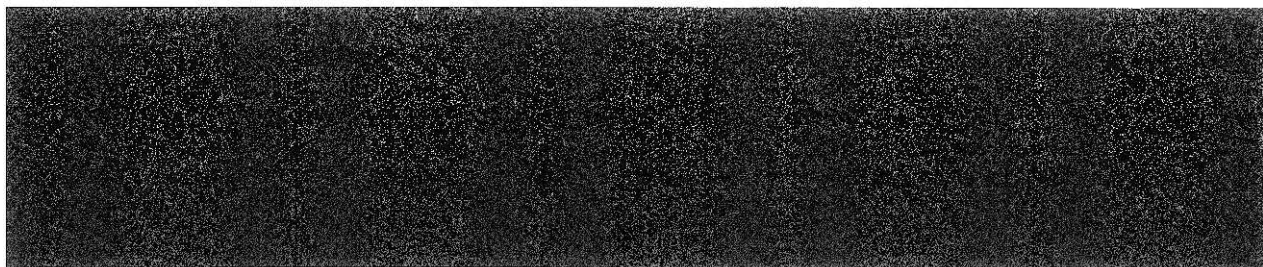
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	370,000	85,000	
負担金	93,000	21,255	市内会
協賛金			
寄付、他収入			
計	463,000	106,255	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	200,000	56,897	プリンター消耗品など
食糧費	28,000	20,142	会議用お茶
印刷製本費	150,000	29,216	資料印刷代ほか
通信運搬費			
手数料			
使用料			
広告料			
燃料費			
報償費	45,000		
旅費交通費			
保険料	40,000		
原材料費			
計	463,000	106,255	



■事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
牟佐町内会	全体の企画、準備、イベント運営
牟佐町内会渡場地区	屋号の整理、渡場現地案内、草刈
シニアクラブ 牟佐	資料作成、歴史ウォークでの先導及び参加者用竹の杖の作成
牟佐電子町内会	歴史ウォーク等イベントの取材
岡山市シティミュージアム	牟佐町内をエリアとする古い絵地図のデジタル化
岡山大学図書館	山陽道関係絵地図資料提供
町内会婦人部、子供会	参加の呼びかけ

■事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
平成 27 年 3 月 1 日	町内会通常総会にて、区づくり推進事業への応募について説明
平成 27 年 3 月 4 日	町内会四役会議にて協議
平成 27 年 3 月 7 日	第 1 回役員会議にて説明
平成 27 年 3 月 14 日	電子町内会定例運営委員会にて説明
平成 27 年 3 月 30 日	区づくり推進事業応募提出
平成 27 年 4 月 27 日	区づくり推進事業「古代山陽道の復元と伝承」について役員協議
平成 27 年 5 月 30 日	区づくり推進事業に採択決定の連絡を受理
平成 27 年 6 月 27 日	牟佐まちづくり協議会で取り組みの説明・協議
平成 27 年 7 月 4 日	町内会四役会議、役員会議にて協議
平成 27 年 8 月 2 日	「古代山陽道と牟佐」をテーマに講演会開催。参加者 65 名(8 月 4 日付山陽新聞にて紹介記事掲載)
平成 27 年 12 月 5 日	「古代山陽道と牟佐」について、シニアクラブ牟佐の有志による懇談 牟佐の大絵地図のデジタル化について、シティミュージアムと協議
平成 27 年 12 月 9 日	大絵地図をシティミュージアムへ搬入
平成 27 年 12 月 21 日	地元有志が町内の古道を渡場地区まで歩き、現地確認
平成 27 年 12 月 23 日	大絵地図のデジタル化完成
平成 28 年 1 月 6 日	「古代山陽道と牟佐」について、有志の協議
平成 28 年 1 月 16 日	「古代山陽道と牟佐」について、有志の協議
平成 28 年 1 月 28 日	3 月 6 日実施の歴史ウォーク配布資料完成
平成 28 年 2 月 3 日	四役会議で協議
平成 28 年 2 月 6 日	第 6 回役員会議にて説明・協議
平成 28 年 3 月 6 日	古代山陽道「牟佐の渡場」を訪ねて、歴史の道ウォーク開催。 参加者約 100 名
平成 28 年 3 月 7 日	電子町内会トピックス(ホームページ)に歴史ウォークの画像をアップ、紹介
平成 28 年 3 月 9 日～	反省会ほか参加者の声を集約
10 日	参加者の声を集約
平成 28 年 3 月 31 日	報告書完成